

正しい申告を行うためには、正しい記帳をしなければなりません。現在、担当している業務の一つが、正しい記帳のサポートをする制度作りです。また、国税庁では、税に関する情報が納税者の皆様に分かりやすく的確に伝わるよう、外部の民間団体の協力を得て、各種説明会等をはじめとした様々な取組を通じて、積極的な周知・広報に取り組んでいます。このような外部団体との窓口を担当していることもあり、様々な団体の行事に呼ばれますが、税の正しい知識の普及のために尽力くださる会員の方々の熱い思いに感化されながら業務に取り組んでいます。

国税庁は税を一本柱に、さまざまな業務があります。少しでも興味を持たれた方は是非国税庁の門を叩いてみて下さい。



登庁

通勤中は音楽を聴いたり、新聞・本を読んだりして過ごすことが多いです。また、天気の良い日は一駅分歩いたりするなど積極的に運動するよう心がけています。



昼休み

自席で食べる日も多いですが、この日は職場近くのお店へランチに行きました。職場の周りにはおいしいお店がたくさんあります！



打合せ①

人数が少ない係であるため、係長と係員で担当分野を決めて、分担しながら業務を進めています。

とはいえ、係としての判断の責任は係長にありますし、他部署や外部からの問合せは担当分野に関わらず

状況に応じて対応しており、また現在の状況や今後の方向性については、普段から積極的に情報共有や相談をしつつ、協力しながら取り組んでいます。



外部との打合せ

申告納税制度は、納税者の皆様に納税義務を自発的かつ適正に履行していただくことが不可欠であることから、国税庁においては、記帳の仕方や制度についての説明会を開催するなど、納税者サービスの向上を目指した各

種施策に取り組んでいます。

これらの施策のなかには、外部の団体や他省庁の協力を得ながら実施するものも多いため、関係機関や団体に対して協力を依頼することも重要な業務の一つとなっています。また、これらの機会を通じて外部の意見を得ることは、新しい視点から施策を考える契機としても重要です。



退庁

忙しい時期は遅くまで残るときもありますが、予定がある日は定時に退庁してアフター6を謳歌します！

国税庁 課税部 個人課税課 係長

二見 智子

平成 27 年入庁

TIMELINE

現在、政府全体で「行政からの生産性革命」として、行政手続の簡素化に向けた取組みが進められており、政府の各種会議体のみならず、国税庁内においても様々な検討が行われています。私は、これらの規制改革に向けた様々な取組みについての個人課税課内の取りまとめを主に担当しています。

税法や経理事務のみならず、ICTに関する知識が必要となる局面も多く、いずれの面でも自身の経験や知識不足を痛感する日々ですが、経験豊富な周囲の方々に助けていただきながら、担当業務に取り組んでいます。

職業選択にあたっては悩むことも多いかと思いますが、説明会等の場を利用して、積極的に情報収集をしてみてください。その答えとして、国税庁を選んだけいただければ大変嬉しく思います。



執務室にてメールチェック、電話対応

毎朝、メールチェックとスケジュール管理から一日が始まります。また、日中は関係者と頻りに電話連絡をとり、様々な方から意見を聞きながら調整を行い、業務を進めていきます。



資料準備

関係する法令や通達、過去の類似の事例等を参照しながら業務を進めていきます。

一方で、過去に類似の事例があるものばかりではなく、一から検討を行う必要がある新規の案件も多いため、最新の状況や事例に即した柔軟な検討も欠かせません。



打合せ②

係内で完結する業務のみならず、庁内各課や課内の他係等、関係する部署が多岐にわたる一方で専門性が高い業務も多いため、関係部署と十分なコミュニケーションを図ることが重要になります。困難な案件でも、関係部署との打合せを通して法令面やシステム面等、様々な観点からの検討を行うことで、係内だけの検討では気づかなかったアプローチからの解決策を見出せることもあるため、とても大切な場となっています。



上司への説明

係の業務に関する最終判断は課長や課長補佐が行うことになるため、係としての案が固まり次第、説明を行い、指示を受けながら業務を進めていきます。課長や課長補佐は、複数の係にまたがった幅広い案件を抱えることになるため、裏付けとなるデータや資料等も準備した上で、わかりやすく、過不足のない説明を行うことを担当者として心掛けています。

国税庁 課税部 個人課税課 係員

加藤 守朗

平成 29 年入庁